氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
川本　利恵子	1.コロナ禍における臨床実習を補完する教育方略の効果	共著	2024年11月	インターナショナル Nursing Care Research,23(2)
片山　典子	1『運動介入が物質関連障害者の自尊感情や自己効力感を高める効果：スコーピングレビュー』（査読付）	共著	令和6年6月	日本アディクション看護学会誌　第21巻1号（P17-24）
倉田　慶子	1　低出生体重児の在宅移行支援における親と医療従事者のshared decision making に着目した文献レビュー	共著	2024年10月	日本健康医学会雑誌33巻3号 Page476-485
倉田　慶子	2　施設に入所しているこどもと家族にかかわる障害福祉サービスの課題と将来	共著	2025年2月	ヘルス出版　小児看護Vol48,No３pp325-330
松島　正起	1.看護行為場面における患者の不快状態への看護学生の気づきと注視―基礎看護学実習前後での比較―	共著	令和6年10月	日本看護技術学会第22回学術集会（札幌）
松島　正起	2. 看護行為場面における患者の不快状態への看護学生の気づきと思考	共著	令和6年10月	日本看護技術学会第22回学術集会（札幌）
渡邉　眞理	1.多職種による認知症高齢がん患者の意思決定支援研修会の評価	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
渡邉　眞理	2.認知症高齢がん患者の意思決定支援(意思の推定)研修会の評価ー意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析ー	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
渡邉　眞理	3.がん診療連携拠点病院におけるリエゾン精神看護専門看護師による看護外来の運営－外来の利用状況と利用患者の特性－	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
渡邉　眞理	4. がん看護専門看護師の活動アウトカムの可視化～チーム、現場、ケアアウトカムの変化を質と量で評価することはできるか	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
渡部　節子	1　腹膜透析関連感染症予防のために看護師が患者・家族への指導において重要と考える項目：デルファイ法による検討	共著	2024年10月	日本腎不全看護学誌 Vol26.№.２
渡部　節子	2　会長講演：本学会の歩みと私の研究活動への示唆	単著		日本感染看護学会 第24回学術集会講演集
渡部　節子	3 Feasibility study to improve oral health in older adult patients using visiting nursing services: A pilot study	共著	2024年12月	PLOS ONE,19(12)
相澤　恵子	1.Development of a Midwifery Education Program to Foster Motherhood in Women with Twin Pregnancies after Assisted Reproductive Technology（査読付）（生殖補助医療後に双子を妊娠した女性の母性を育むための助産師教育プログラムの開発）	共著	2024年	Japan Society for Twin Studies, 3(1),p1-10.
碓井　瑠衣	Association of Obesity With Health Literacy and Weight Perception Among Women Merchants in Abidjan, Côte d'Ivoire: A Cross-Sectional Study	共著	2024年6月	HLRP: Health Literacy Research and Practice
碓井　瑠衣	Evaluation of a Smartphone-Based Weight Loss Intervention with Phone-call Support for Merchant Women with Obesity in Côte d'Ivoire: Protocol for a Randomized Controlled Trial″	共著	（2025年2月25日アクセプトメール受信）	JMIR Research Protocols
櫻井　友子	1　コロナ禍における成人看護学実習の経験と学生の不安との関連（査読付）	共著	2024年10月	インターナショナルNursing Care Reseach
櫻井　友子	2　コロナ禍における臨床実習を補完する教育方略の効果（査読付）	共著	2024年10月	インターナショナルNursing Care Reseach
佐々木　千佳	1　女子大学生と足の実態調査(査読有)	共著	2024年6月	健康レクリエーション研究 Vol19pp。9-19
佐々木　千佳	2　施設入所高齢者の入浴時刻の違いによる睡眠状態の比較	共著	2024年11月	第31回日本時間生物学会　（富山）2024　P143
清水　奈緒美	1.多職種による認知症高齢がん患者の意思決定支援研修会の評価	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
清水　奈緒美	2.認知症高齢がん患者の意思決定支援(意思の推定)研修会の評価ー意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析ー	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
安部　仁美	1中規模企業における持続的な健康経営の実装に向けた開業保健師による組織支援の特性と評価-Features and evaluations of organizational support provided by occupational health nurses in private practice for the implementation of sustainable health and productivity management in medium-sized enterprises	共著	66(4) 156-167 2024年7月25日	産業衛生学雑誌
安部　仁美	2第34回国際産業保健学会（ICOH 2024）参加報告-～6年ぶりの対面開催、笑顔とハグが飛び交うICOH2024～	単著	47(5) 49-54 2024年9月1日	産業医学ジャーナル
安部　仁美	3災害に備えた健康管理・保健指導-特集 いざというときのために 日常の産業保健活動における災害への備え	単著	16(3) 204-210 2024年5月	産業保健と看護
岡　多恵	1.多職種による認知症高齢がん患者の意思決定支援研修会の評価	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
岡　多恵	2.認知症高齢がん患者の意思決定支援(意思の推定)研修会の評価ー意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析ー	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
小野寺　悠斗	1メディカ出版サブスクリプション学習サービス「FitNs.」アルコール依存症について	単著	2024年12月	メディカ出版
小野寺　悠斗	2よくわかる看護過程　双極性障害	単著	2025 年 3月 10日 発行	『Nursing Canvas』2025 年 4月号
小野寺　悠斗	3薬物依存症者の回復を示す生理学的変化の指標についての文献検討	共著	2024年12月14日～ 15日	第22回日本アディクション看護学会
陶山　克洋	1 片山典子，渡部李菜，陶山克洋，佐々木博之：精神看護学実習において学生が捉える地域生活支援に関する学び ーテキストマイニングを用いたレポートの内容分析ー（in press 日本アディクション看護学会誌）（査読あり）	共著	2025年4月発刊予定	日本アディクション看護学会誌
陶山　克洋	2 陶山克洋，片山典子：COVIDー19拡大に伴う1型糖尿病患者の心身への影響に関する研究～マイクロブログによる計量テキスト分析を用いて～（submitted to 日本アディクション看護学会誌）（査読あり）	共著	2025年予定	日本アディクション看護学会誌
野口　京子	1：Feasibility study to improve oral health in older adult patients using visiting nursing services: A pilot study	共著	2024年12月	PLOS ONE
野口　京子	2：Feasibility study of a Care Intervention to Improve Oral Health in Older Adult Patients Who Use Visiting Nursing Services: A Pilot Study	共著	2024年7月	11th INTERNATIONAL CONGRESS OF ASIA PACIFIC SOCIETY OF INFECTION CONTROL (APSIC) 2024
日下　桃子	1　精神疾患のある人の性と生殖に関する実態	共著	掲載済(2025年2月)	日本看護科学学会誌
日下　桃子	2　Effects of an online program about intimate and romantic relationships for people with mental disorders (AIRIKI): a study protocol for a randomized controlled trial	共著	掲載済(2024年10月)	BMC Psychiatry 24(1)p731
倉橋　悠子	1 Kurahashi Y, Okuyama S (2025.3). Experiences of Difficulty in Hematopoietic Cell Transplant Nurses: A Qualitative Systematic Review Protocol. medRxiv. https://doi.org/10.1101/2025.03.04.25323395	共著	1905年7月	medRxiv. https://doi.org/10.1101/2025.03.04.25323395
倉橋　悠子	2 【原稿執筆】倉橋 悠子（2024）．ヘルステック生成AIのあり方: 看護ケアGPB編. AAC株式会社公式サイト掲載. http://www.aac-g.co.jp/index-AAC-EVENT.html （2024年3月21日公開）.	単著	1905年7月	AAC株式会社公式サイト掲載. http://www.aac-g.co.jp/index-AAC-EVENT.html

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
倉橋　悠子	3 櫻井 友子，岡 多恵，石橋 史子，**倉橋 悠子**，関谷 潤，渡邉 眞理（2024）．コロナ禍における成人看護学実習の経験と学生の不安との関連．インターナショナル Nursing Care Research，23(1)，79-88.	共著	2024.10	インターナショナル Nursing Care Research，23(1)，79-88.
本間　誠淳	1.輸液カテーテル管理の実践基準　改訂版（仮）	共著	2025年度発刊予定	南山堂
本間　誠淳	2. Families Using Day Care facilities for children with SMID (severe motor and intellectual disabilities) in Japan : A Literature Review	共著	2025年6月17日～20日（採択済）	17th International Family Nursing Conference
三堀　いずみ	1.多職種による認知症高齢がん患者の意思決定支援研修会の評価	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
三堀　いずみ	2.認知症高齢がん患者の意思決定支援(意思の推定)研修会の評価ー意思決定支援の取り組みと今後の課題認識の質的分析ー	共著	2025年2月	第39回日本がん看護学会学術集会抄録（査読付）
村嶋　幸代	1　母子保健記録における電子システム活用の効果と課題　行政保健師に対するインタビュー調査	共著	2024年11月	日本臨床知識学会誌 (2436-0228)5巻 Page63-65(2024.12)
村嶋　幸代	2　保健師のコアバリューとコアコンピテンシー　デルファイ調査	共著	2024年12月	日本公衆衛生雑誌(0546-1766)71巻12号 Page745-755(2024.12)
村嶋　幸代	3　新型コロナウイルス感染症流行下における看護学生による予防的家庭訪問実習　地域で展開する看護学実習継続に向けた工夫	共著	2024年9月	日本プライマリ・ケア連合学会誌(2185-2928)47巻3号 Page111-115(2024.09)
望月　千夏子	1婚姻初産婦の心理的特徴を踏まえた支援内容の検討	共著	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会
望月　千夏子	2技能実習生の健康と生活状況に関する文献レビュー	共著	2024年10月	第83回日本公衆衛生学会
山﨑　圭子	1　NICU・GCUに入院している乳児の泣きに対する看護師の捉え方（査読付）	共著	2024年7月	母性衛生，65(2),232-239
山﨑　圭子	2 正規雇用就労女性の就労と妊娠出産育児に関する主体的体験（査読付）	共著	2024年7月	母性衛生，65(2),249-256
山﨑　圭子	3 Effect of Domestic Violence on the Health-related Quality of Life of Pregnant Women during the COVID-19 Pandemic（査読付） COVID-19蔓延状況下でのDomestic violenceが妊婦の 健康関連Quality of Lifeに与える影響	共著	2024年7月	Journal of Japan Health Medicine Association, in press,33(2),200-207
山﨑　圭子	4 産婦健康診査で要支援となった母親に対する保健師の関わり（査読付）	共著	2024年9月	日本公衆衛生雑誌、71(10),
坂上　昇	1　発達障害児のMotor skillsを改善するための介入　ーシステマティックレビューー（査読付）	共著	2025年3月 （印刷中）	専門リハビリテーション 第23巻 P.1～10
大森　圭貢	1 心臓手術後患者にれる退院前の歩行能力および身体機能の評価指標―文献調査―	共著 原田真二,森尾裕志,大森圭貢	令和6年5月	専門リハビリ,22.31-40,2024
大森　圭貢	2 Characteristics of nighttime sleep and daytime sleepiness in community-dwelling people with aging-associated cognitive decline	共著 Yoshitsugu Omori,Hitomi Hakoyama,Takuya Ueda,Tetsuya Yamagami,Saori Anzai,Yoshitaka Shiba	令和6年9月	Japanese Society of Community-based Comprehensive Physical Therapy., Vol.4,No.1,18-26,2024

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
大森　圭貢	3 Subjective Difficulty with Higher-Level Functional Capacity in Community-Dwelling Older People withMild Cognitive Impairment	共著 Yoshitaka Shiba,Saori Anzai,Takuya Ueda,Naoki Sasa, Tetsuya Yamagami,Yoshitsugu Omori	令和6年10月	Fukushima J. Med. Sci., Vol. 70, No. 4, 2024
大森　圭貢	4 Quantitative analysis of the gaze and the kinetic/kinematic evaluation of expert and novice physical therapists during standing/sitting assistance: a pilot study.	Sekine Satoru,Sakurai Yoshimi, Omori Yoshitsugu, Morio Yuji, Yamamoto Junichi	令和6年11月	Front Rehabil Sci. 2024 Nov 21;5:1426699. doi: 10.3389/fresc.2024.1426699. eCollection 2024.
大森　圭貢	5 変形性膝関節症を有する女性患者の階段昇降速度と身体的・心理的因子の関連性	共著 大内佑太,城所亮多,衣田翔,大森圭貢,森尾裕志	令和7年1月	理学療法：技術と研究、53；55-60、2025
森尾　裕志	1 Quantitative analysis of the gaze and the kinetic/kinematic evaluation of expert and novice physical therapists during standing/sitting assistance: a pilot study （査読付）	共著	令和5年11月	Frontiers in Rehabilitation Sciences 5: 1-14
森尾　裕志	2 変形性膝関節症を有する女性患者の階段昇降速度と身体的・心理的因子の関連 （査読付）	共著	令和6年2月	理学療法: 技術と研究. 53巻: 55-60
山田　拓実	1　Differences in Diaphragmatic and Chest Wall Excursion During Quiet Breathing According to Body Position: Dynamic Analysis by MRI	共著	October 2024.	Cardiopulmonary Physical Therapy Journal 35(4):p 144-153,
山田　拓実	2　介護予防運動プログラムが要介護発生リスクに及ぼす影響：10年間の追跡研究	単著	10月2024.	第83回日本公衆衛生学会総会抄録集
櫻井　好美	1 Quantitative analysis of the gaze and the kinetic/kinematic evaluation of expert and novice physical therapists during standing/sitting assistance: a pilot study	共著	2024年11月	Frontiers in Rehabilitation Sciences
櫻井　好美	2 Verification of the Effectiveness of Lower Extremity Constraint-Induced Movement Therapy Performed on Patients with Post-stroke Hemiplegia in Maintenance Phase under Spasticity Treatment on Musculus Triceps Surae	共著	2024年12月	International Journal of Arts, Commerce and Humanities
大村　優慈	1　介護老人保健施設入所者における食堂の座席での反復起立テストと日常歩行，バランス機能，歩行耐久性の関係	共著	2024年5月	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 61(5) 414-422
下田　栄次	1　災害時における理学療法士の役割と実践	単著	2025年2月	公益社団法人神奈川県理学療法士会　第41回神奈川県理学療法士学会
下田　栄次	2　令和6年能登半島地震災害支援活動報告 －神奈川県理学療法士会事務局災害対策部の取り組みと展望－	共著	2025年1月	理学療法－技術と研究－53巻
下田　栄次	3　令和6年能登半島地震災害支援活動報告 ー神奈川県理学療法士会事務局災害対策部の取り組みとその意義ー	共著	2024年9月	第43回神奈川県病院学会
中村　壽志	1. 炭酸入浴剤による炭酸温水足浴が身体的バランス能力に及ぼす影響	共著	2024年12月	人工炭酸泉研究会雑誌 第8巻1号
中村　壽志	2. 人工炭酸温水による足浴が下肢筋力向上と転倒予防への可能性について	共著	2024年12月	人工炭酸泉研究会雑誌 第8巻1号
土田　将之	1. Changes in acceleration and deceleration factors associated with active gait speed adjustment	共著	vol36, No.5, pp1-8, 2024	Journal of Physical Therapy Science

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
土田　将之	2.高齢者のスマートフォン利用状況と多面的に測定したQOLとの関連	共著	2024年6月	第66回　老年社会学会大会
土田　将之	3.Association between smartphone usage and physical activity level among older people living in Japan.	共著	2025年5月	World Physiotherapy Congress 2025.
田邉　浩文	1 Efficacy of lower Extremity LE CI Therapy using a spasticity reduction device for hemiplegia in stroke patients 脳卒中片麻痺患者に対する痙縮減弱装置を用いたLE CIセラピーの有効性の検証（査読付）	共著	2024年11月	International Conference on Control Automation and Systems. DOI:10.23919/ICCAS63016.2024.1077329(proceedings)
田邉　浩文	2 Effects of Constraint-induced Movement Therapy on Patients with Post-cerebrovascular Disease Hemiplegia in the Maintenance Phase -Evaluation of Gait Improving Effects by Biomechanical Analysis- 維持期脳血管疾患片麻痺患者に対するCIセラピーの効果～バイオメカニクス解析による歩行改善効果の検証～（査読付）	共著	2025年2月	British Journal of Healthcare and Medical Research, Vol - 12(1). 296-305.
田邉　浩文	3 Verification of the Effectiveness of Lower Extremity Constraint-Induced Movement Therapy Performed on Patients with Post-stroke Hemiplegia in Maintenance Phase under Spasticity Treatment on Musculus Triceps Surae 維持期脳卒中後片麻痺患者に対する下腿三頭筋痙縮治療下における下肢拘束誘導運動療法の有効性の検証（査読付）	共著	2024年11月	International Journal of Arts, Commerce and Humanities,Vol12(6)pp,1-6.
田邉　浩文	4 Evaluation of Effectiveness of Modified Pediatric Constraint-Induced Movement Therapy Performed on Children with Cerebral Palsy by a Home-treatment Program	共著	2025年1月	American Journal of Medical and Clinical Sciences(10),pp,1-6.
田邉　浩文	5 Relationship between pushing force and improvement in total A-ROM when training with a nger extensor facilitation training device “iPARKO” 指伸筋促進訓練装置iPARKOを用いた訓練時の押す力と全A-ROMの改善との関係（査読付）	共著	2024年11月	ROBOMEC journal,pp,1-25. https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-5406511/v1
田邉　浩文	6　Comparative Examination of the Vibration Stimulation and Piston Technique Treatments on Muscle Tone Reduction in Children with Cerebral Palsy Who Exhibit Abnormal Muscle Tone at the Musculus Triceps Surae 下腿三頭筋の筋緊張異常を呈す脳性麻痺児の筋緊張軽減振動刺激とピストンテクニック治療の比較検討（査読付）	共著	2024年10月	International Journal of Arts, Commerce and Humanities (IJACH) - Volume 12 Issue 04, 2024
田邉　浩文	7 Development of a new rehabilitation treatment method for spasticity caused by central nervous system diseases: the piston technique and proprioceptor stimulation method 中枢神経疾患の痙縮に対する新たな治療法、ピストンテクニックと固有受容性抑制法	単著	2024年10月	International Spasticity Society (Poland)
田邉　浩文	8　Tanabe Therapy and Modified Constraint-Induced Movement Therapy for an acute stroke patient with sever hemiplegic upper extremity 急性脳卒中重度上肢麻痺に対するタナベセラピーと修正CIセラピーの併用効果（査読付）	共著	2024年11月	The 8th Asia Pacific Occupational Therapy CongressP3-M-15(アジア作業療法国際学会論文集)
田邉　浩文	9 Effects of finger extensor facilitation method 指伸筋促通方法の効果（査読付）	共著	2024年11月	The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress(アジア作業療法国際学会論文集)
田邉　浩文	10 脳性片麻痺児に対する修正pediatric-Constraint-induced Movement Therapyの実践報告	共著	2024年11月	第58回日本作業療法学会論文集（札幌）
田邉　浩文	11 維持期脳卒中片麻痺者に対するリモート行動心理アプローチ（査読付）	共著	2024年11月	第58回日本作業療法学会論文集（札幌）

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
池田　晋平	1. Healthcare Service Disparities in Cancer Rehabilitation and Treatment Costs in Japan: A Cross-Sectional Analysis of National Data	共著 （副筆）	2025年3月	Cureus（17巻3号），SPRINGER NATURE
池田　晋平	2. Child Poverty and Its Associated Issues in A City, Tokyo: Insights from Community-Based Participatory Research	共著 （主筆）	2025年2月	Children（12巻2号,252頁），MDPI
杉村　直哉	1　最新作業療法学講座 精神障害作業療法学	共著	2025年2月	医歯薬出版
杉村　直哉	2　精神科作業療法と臨床推論「不安症」	共著 （責任著者）	2024年12月	臨床作業療法NOVA 21(4):29-36
杉村　直哉	3　第31回日本産業精神保健学会におけるワールドカフェ企画実施報告	共著	2025年2月	産業精神保健33(1):68-72
増田　雄亮	12　A Study of the Effects on Walking Motion by a Self-Walking Training Support Passive Robot 自主歩行トレーニング支援パッシブロボットによる歩行動作への影響に関する考察（査読付）	共著	2024年5月	日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス論文集F1-P2(1-2)
増田　雄亮	2. Verification of the Effectiveness of Lower Extremity Constraint-Induced Movement Therapy Performed on Patients with Post-stroke Hemiplegia in Maintenance Phase under Spasticity Treatment on Musculus Triceps Surae	共著	令和6年12月	International Journal of Arts Commerce and Humanities 12(6), pp.1-7
増田　雄亮	3. Effects of Voluntary Upper-Extremity Functional Training in Patients with Chronic Stroke	共著	令和6年7月	Asian Journal of Occupational Therapy 20(1), pp.49-58
増田　雄亮	4. 作業中心のEvidence-based practiceを支援する臨床教育の有用性－探索的事例検討－	共著	令和6年4月	作業療法¥ 43(2), pp.222-229
三川　年正	1.脳卒中後うつ病経験者の抑うつを意識したエピソードと回復要因 -トピックモデルを用いた解析- (査読付)	共著	令和6年8月31日	昭和大学学士会雑誌84巻4号305-313
三川　年正	2.Verification of the Effectiveness of Lower Extremity Constraint Induced Movement Therapy Performed on Patients with Post Stroke Hemiplegia in Maintenance Phase under Spasticity Treatment on Musculus Triceps Surae	共著	令和6年11月20日 (2024)	International Journal of Arts, Commerce and Humanities Vol.12, (6) pp.01-08. https://www.journalijach.com/admin/upload/IJACH20240034.pdf
三川　年正	3.Evaluation of Effectiveness of Modified Pediatric Constraint-Induced Movement Therapy Performed on Children with Cerebral Palsy by a Home-Treatment Program	共著	令和7年1月10日 (2025)	American Journal OF Medical AND Cinical Sciences ,10(1),1-6, 2025 https://www.ajrms.com/article/Evaluation+of+Effectiveness+of+Modified+Pediatric+Constraint-Induced+Movement+Therapy+Performed+on+Children+with+Cerebral+Palsy+by+a+Home-Treatment+Program
神保　洋平	1CROT-Rを使用した臨床参加型実習の利点と課題点の検討ー状況学習論的観点からの一考察 -	共著（筆頭）	2024年11月	第58回日本作業療法学会
神保　洋平	2ゴールドマスター作業療法管理学	共著	2024年12月	メジカルビュー社
岡本　絵里加	1 急性期病院における「意味のある作業」を実施した認知症患者群の作業療法の効果～ランダム化比較試験～の報告から．（査読付）	単著	2024年4月	作業行動研究 27 (4) 207-211, 2024.

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
宮内　貴之	1. Behavioral Problems and Self-Feeding Independence Among Patients With Acute Stroke: A Single-Center Study（急性脳卒中患者における行動上の問題と自食自立： 単一施設研究）	共著 （主）	2024年9月	The American Journal of Occupational Therapy 78 (5), 7805205080
宮内　貴之	2. 意思決定支援ツールを用いて段階的かつ複合的介入を立案したことで BPSD と ADL の改善に繋がった脳血管性認知症の事例	共著 （主）	2024年12月	神奈川作業療法研究14（1）　号, 11-17
鈴木　勉	「ダメ.ゼッタイ.」普及運動は医療用麻薬の適正使用に影響しているか？（査読あり）	共著	2024年3月	日本緩和医療薬学会17:17-24,2024
鈴木　勉	幻覚発現物質の評価検証を目指した試験法の開発（査読あり）	共著	2024年3月	令和5年度厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器レギュラトリーサイエンス政策事業）課題番号：22KC1005、課題名：指定薬物の指定に係る試験法の評価検証に資する研究（研究代表者：鈴木　勉）統括・分担研究報告書 27-39 (2024)
石川　吉伸	Theoretical Studies on the Reaction Mechanism of Schiff Base Formation from Hexoses（ヘキソースからのシッフ塩基形成反応機構に関する理論的研究）	共著	2024年5月	The Journal of Physical Chemistry B, 128, 4952-4958, 2024
石川　吉伸	Downregulation of chemoresistance by claudin-14 silencing in human colorectal cancer cells（ヒト大腸がん細胞におけるクローディン-14のサイレンシングによる化学療法耐性の低下）	共著	2024年8月	Archives of Biochemistry and Biophysics, 758, 110075, 2024
石川　吉伸	Chemical constituents of five Saxifraga species and their virucidal activities（ユキノシタ科5種の化学成分とそのウイルス不活化活性）	共著	2024年12月	Fitoterapia, 179, 106215, 2024
石川　吉伸	Reduction of Chemoresistance by Claudin-14-Targeting Peptide in Human Colorectal Cancer Cells（ヒト大腸がん細胞におけるクローディン-14標的ペプチドによる化学療法抵抗性の低減）	共著	2025年1月	Journal of Cellular Biochemistry, 126(1), e30675, 2025
石橋　芳雄	Identification of heparin-binding proteins expressed on Trichosporon asahii cell surface トリコスポロンアサヒ菌体表層に発現するヘパリン結合タンパク質の同定（査読付）	共著	2024年 5月	Yeast. https://doi.org/10.1002/yea.3928
石橋　芳雄	Identification of the cell-surface lectin domain-containing protein expressed in the adhesive colony morphology of Trichosporon asahii 高接着性トリコスポロンアサヒコロニー形態株の菌体表層に発現するレクチンドメイン保有タンパク質の同定（査読付）	共著	2024年 12月	Medical Mycology https://doi.org/10.1093/mmy/myae119
加賀谷　肇	The Association between Molecular Initlating Events and Drug-Induced Hiccups	共著	2024年4月	Pharmaceuticals 2024,17(3),379;https://doi.org/10.3390/ph17030379(registering DOI)
加賀谷　肇	Investigation on the effects of the route of administration on nicotine-induced hiccups using FDA adverse events reporting system	共著	2025年3月	Chem-Bio Informatics Journal (Accepted:2025-03-04)
片川　和明	Therapeutic Senolysis of Axitinib-Induced Senescent Human Lung Cancer Cells	共著	2025年8月	Cancers 2024, 16, 2782.
加藤　裕久	Comparison between a single dose of PEG G-CSF and multiple doses of non-PEG G-CSF: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the use of G-CSF 2022	共著	2024 Jun;29(6): 681-688 DOI: 10.1007/s10147-024-02504-4	Int J Clin Oncol

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
加藤　裕久	Therapeutic use of granulocyte colony-stimulating factor (G-CSF) in patients with febrile neutropenia: a comprehensive systematic review for clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology	共著	2024 Jun;29(6):700-705. doi: 10.1007/s10147-024-02541-z	Int J Clin Oncol
加藤　裕久	Effectiveness and safety of granulocyte colony-stimulating factor priming regimen for acute myeloid leukemia: A systematic review and meta-analysis of the Clinical Practice Guideline for the use of G-CSF 2022 from the Japan Society of Clinical Oncology	共著	2024 Jul;29(7):899-910. doi: 10.1007/s10147-023-02461-4	Int J Clin Oncol
加藤　裕久	Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF for patients with Ewing sarcomas: a systematic review for the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 of the Japan Society of Clinical Oncology	共著	2024 Aug;29(8):1081-1087. doi: 10.1007/s10147-024-02572-6	Int J Clin Oncol
加藤　裕久	Effectiveness and safety of primary prophylaxis of granulocyte colony-stimulating factor during dose-dense chemotherapy for urothelial cancer: Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022	共著	2024 May;29(5):545-550. doi: 10.1007/s10147-024-02491-6	Int J Clin Oncol
加藤　裕久	Effectiveness and safety of primary prophylaxis with G-CSF during chemotherapy for invasive breast cancer: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022	共著	2024 Aug;29(8):1074-1080. doi: 10.1007/s10147-024-02570-8	Int J Clin Oncol
加藤　裕久	Effectiveness of G-CSF in chemotherapy for digestive system tumors: a systematic review of the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 delineated by the Japan Society of Clinical Oncology	共著	2024 Jun;29(6):689-699. doi: 10.1007/s10147-024-02502-6	Int J Clin Oncol
加藤　裕久	Effectiveness and safety of primary prophylaxis of G-CSF during chemotherapy for prostate cancer, Japanese clinical guideline for appropriate use of G-CSF: clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022	共著	2024 May;29(5):559-563. doi: 10.1007/s10147-024-02501-7	nt J Clin Oncol

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
加藤　裕久	Primary prophylaxis with G-CSF for patients with non-round cell soft tissue sarcomas: a systematic review for the Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022 of the Japan Society of Clinical Oncology	共著	2024 Aug;29(8): 1067-1073. doi: 10.1007/s10147-024-02569-1	Int J Clin Oncol
木村　聡一郎	Treatment for Dry Skin and an Unpleasant Smell: Development of a Moisturizer with Deodorant for Maintaining a Good Skin Condition	共著	2024年7月	International Journal of Pharmacy and Pharmaceutical Research
栗原　正明	(5-Fluoro-2,6-dioxo-1,2,3,6-tetrahydropyrimidin-1-ido-κN1)(1,4,8,11-tetraazacyclotetradecane-κ4N)zinc(II) perchlorate「査読有り」（表題化合物の結晶構造）	共著	2024年5月	IUCrdata, (2024); 9(5), p. x240431.
栗原　正明	[1-(Anthracen-9-ylmethyl)-1,4,7,10-tetraazacyclododecane]chloridozinc(II) nitrate「査読有り」（表題化合物の結晶構造）	共著	2024年7月	IUCrdata, (2024); 9(7), p. x240665.
栗原　正明	QSARによるフェンタニル系化合物のインシリコ活性予測（査読有り）	共著	2024年9月	国際医療福祉大学学会誌, 29, 2024,102-109（査読有り）
栗原　正明	Design, synthesis and characterization of 1-(anthracen-9-ylmethyl)-1,5,9-triazacyclododecane (Ant-[12]aneN3) and its DNA photocleavage activity「査読有り」（1-(アントラセン-9-イルメチル)-1,5,9-トリアザシクロドデカン(Ant-[12]aneN3)の設計、合成、特性評価およびそのDNA光切断活性）	共著	2025年2月	Chemical and Pharmaceutical Bulletin, (2025); 73(2), p. 103.
国分　秀也	血液透析患者の上行結腸がんに対し，用量を調節したmFOLFOX6+Bevacizumab療法を施行し，良好な治療成績が得られた1例	共著	2024年8月	YAKUGAKU ZASSHI
国分　秀也	薬局薬剤師におけるケミカルコーピングの認知度と関連する経験に関する実態調査	共著	2025年3月	日本緩和医療薬学会雑誌
定本　清美	Kiyomi Sadamoto, Junya Fujimori, Hiroyuki Ura, Soichiro Kimura,Kiyoshi Kubota Treatment for Dry Skin and Unpleasant Smell: Development of Moistturizer with Deodorant for Maintainning a Good Skin Condition	共著	2024年6月	International Journal of Pharmacy & Pharmaceutical Reserch July2024 Vol30, Issue 7 309-320
定本　清美	Kiyoshi Kubota1, Morio Shimada, Hiroyuki Ura, Kiyomi Sadamoto Potential of Aluminum Drug Packages with Press- Through Packaging Considering Usability for a Wide Range of Users	共著	2024年11月	Medical Devices: Evidence and Research 2024:17 441-453
定本　清美	Ura, H., Matsuoka, N., Kubota, K., Sadamoto, K. Trends in prescription of anti-seizure medications in Japan between 2018 and 2021: A retrospective study using the National Database Open Data Japan.	共著	2024年9月	Epilepsy & Behavior 159:109949, 2024

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
佐藤　淳也	Predicting recurrent Clostridioides difficile infection by assessing antimicrobial treatment based on days of antibiotic spectrum coverage and ATLAS scores	共著	2025年1月	J Infect Chemother 2024 Dec 27:102603.
佐藤　淳也	Comparison of continuous subcutaneous hydromorphone hydrochloride and morphine hydrochloride injection on skin disorders incidence: a retrospective study	共著	2024年12月	J Pharm Health Care Sci 10 82-82
佐藤　淳也	Extravasation associated with cancer drug therapy: multidisciplinary guideline of the Japanese Society of Cancer Nursing, Japanese Society of Medical Oncology, and Japanese Society of Pharmaceutical Oncology	共著	2024年10月	ESMO Open. 2024 Oct;9(10):103932.
佐藤　淳也	Efficacy and safety of bone management agents administered at 12 weeks vs. 4 weeks in patients with bone metastases: A systematic review	共著	2024年10月	Journal of Oncology Pharmacy Practice 30(7) 1160-1172
佐藤　淳也	The Incidence of delirium during the initiation phase of morphine and hydromorphone medications in cancer patients: a retrospective comparative study	共著	2024年8月	Canadian Journal of Hospital Pharmacy (in press)
佐藤　淳也	Retrospective Analysis of Factors Influencing the Hemoglobin Level-increasing Effect of Sodium-glucose Co-transporter-2 Inhibitors	共著	2024年8月	IN VIVO 38(6) 2767-2773
佐藤　淳也	緩和薬物療法を中心とした薬剤師業務に関連する医療事故に対するシステム構築	共著	2024年8月	医療事故紛争対応研究会誌 16 15-24
佐藤　淳也	Analysis and evaluation of factors contributing to the occurrence of immune-related adverse events with immune checkpoint inhibitors	共著	2024年6月	Pharmazie 79 163-168
佐藤　淳也	血液透析患者の上行結腸がんに対し，用量を調節した mFOLFOX6+Bevacizumab療法を施行し，良好な治療成績が得られた 1 例	共著	2024年5月	Yakugaku Zasshi 144 847-852
佐藤　淳也	医療用麻薬注射剤の全量採取調製により過剰投与が疑われた 1 例	共著	2025年2月	日本緩和医療薬学雑誌 18 :掲載準備中
塩田　清二	Lifespan Extension and Motor Function Improvement Effects of Whale Meat Extract in Caenorhabditis elegans.(査読付)(鯨肉エキスによるCaenorhabditis elegansの寿命延長と運動機能改善効果)	共著	2024年11月	International Journal of Molecular Sciences, 25(23):12833
塩田　清二	AMP-activated protein kinase in the amygdala and hippocampus contributes to enhanced fear memory in diabetic mice.(査読付)(扁桃体と海馬のAMP活性化タンパク質キナーゼは、糖尿病マウスの恐怖記憶の強化に寄与する)	共著	2024年12月	British Journal of Pharmacology, 181(24):5028-5040
塩田　清二	DNA Microarray and Bioinformatic Analysis Reveals the Potential of Whale Oil in Enhancing Hair Growth in a C57BL/6 Mice Dorsal Skin Model.(査読付)(DNAマイクロアレイとバイオインフォマティクス解析により、C57BL/6マウス背部皮膚モデルにおける鯨油の育毛促進効果の解明)	共著	2024年5月	Genes (Basel), 15(5):627
塩田　清二	Intracellular signaling mechanism of sweat secretion by PACAP(査読付)(PACAPによる発汗分泌の細胞内シグナル伝達機構)	共著	2024年5月	Cell Signaling, 2(1):86-89
塩田　清二	ヒノキ・スギセルエキストラクトの香りが剣道選手のコンディショニングに与える影響~和の香りを和のスポーツに導入する試み~(査読付)	共著	2024年11月	一般社団法人日本アロマセラピー学会誌, 23(1):47-54
塩田　清二	ヨモギの低温真空抽出物による育毛作用(査読付)	共著	2024年11月	一般社団法人日本アロマセラピー学会誌, 23(1):32-38
塩田　清二	スギおよびヒノキセルエキストラクトのマイオカイン分泌による健康促進作用(査読付)	共著	2024年11月	一般社団法人日本アロマセラピー学会誌, 23(1):39-46
塩田　清二	スポーツアロマにおける精油の作用とその評価方法(査読付)	共著	2024年11月	一般社団法人日本アロマセラピー学会誌, 23(1):5-15

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
高橋　央宜	A computational DFT study of the stereoinversion of succinimide residues formed in proteins and peptides catalyzed by a hydrogen phosphate ion: An unsymmetrical SE1 mechanism	単著	2024年10月	Symmetry
東山　公男	Elucidation of Degradation Behavior of Nitrazepam, a Benzodiazepine Drug, under Basic Conditions: Study on Degradability of Drugs in Stomach (IV) （ベンゾジアゼピン系薬剤ニトラゼパムの基本条件下での分解挙動の解明：胃内薬物分解性に関する研究（IV）） （査読付）	共著	2024年1月	Chem. Pharm. Bull., 72, 11-15
東山　公男	Elucidation of Degradation Behavior of Barbiturates in Artificial Gastric Juice: Study on Degradability of Drugs in Stomach (V) （人工胃液中のバルビツール酸塩の分解挙動の解明:胃中薬物の分解性に関する研究(V)） （査読付）	共著	2024年8月	Chem. Pharm. Bull., 72, 747-750
舩田　正彦	大麻取締法改正の意義を考える	単著	2024年4月	薬局薬学
舩田　正彦	日本における薬物の乱用，依存の現状と 問題点	共著	2024年8月	ペインクリニック　Vol.45 No.8 (2024.8)
舩田　正彦	Fentanyl-Type Antagonist of the μ-Opioid Receptor: Important Role of Axial Chirality in the Active Conformation.	共著	2024年6月	J Med Chem. 2024 Jun 27;67(12):10447-10463. doi: 10.1021/acs.jmedchem.4c00935. Epub 2024 Jun 13. PMID: 38869493; PMCID: PMC11215721. (2024.6)
舩田　正彦	危険ドラッグの有害作用評価に関する研究：合成カンナビノイドを中心に	単著	2024年9月	ファルマシア 60 (11), 1040-1044, 2024
古屋　博行	The analysis of lung sounds in infants and children with a history of wheezing/asthma using an automatic procedure（査読有）	共著	2024年8月	BMC Pulm Med. 14;24(1):394
古屋　博行	Evaluation of Incidental Findings on Abdominopelvic CT: Potential Benefit of Photon-counting Detector CT Over Conventional Single-energy CT.（査読有）	共著	2024年7月	Tokai J Exp Clin Med. 2024;49(2):73-81.
古屋　博行	Effects of COVID-19 pandemic-associated reduction in respiratory infections on infantile asthma development（査読有）.	共著	2024年4月	J Allergy Clin Immunol Glob. 11;3(3):100256.
湯本　哲郎	Usefulness of driver’s eye movement measurement to detect potential risks under combined conditions of taking second-generation antihistamines and calling tasks	共著	2024年 Open Access	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences https://doi.org/10.1186/s40780-024-00383-5 (2024) 10:62
市川 智恵	Identification of heparin-binding proteins expressed on Trichosporon asahii cell surface トリコスポロンアサヒ菌体表層に発現するヘパリン結合タンパク質の同定（査読付）	共著	2024年 5月	Yeast. https://doi.org/10.1002/yea.3928
市川 智恵	Identification of the cell-surface lectin domain-containing protein expressed in the adhesive colony morphology of Trichosporon asahii 高接着性トリコスポロンアサヒコロニー形態株の菌体表層に発現するレクチンドメイン保有タンパク質の同定（査読付）	共著	2024年 12月	Medical Mycologyhttps://doi.org/10.1093/mmy/myae119

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
加藤 英明	神奈川県におけるコロナ禍とメンタルヘルスに関するデータ解析	共著	2024.11.26	ISSN0451-3177 神奈川県公衆衛生学会誌、第70号、57-59 (2024) 加藤英明、曾川甲子郎、細谷龍一郎、浅野哲、鈴木勉
加藤 英明	神奈川近郊の河川・海域における薬剤耐性菌に関する実態調査	共著	2024.11.26	ISSN0451-3177 神奈川県公衆衛生学会誌、第70号、14-15 (2024) 曾川甲子郎、加藤英明
加藤 英明	日本における薬物の乱用、依存の現状と問題点（総説）	共著	1905年7月	ペインクリニック、45巻8号、839-846 (2024) 鈴木勉、加藤英明、舩田正彦
加藤 英明	Novel sterilization method of Bacillus atrophaeus and Geobacillus stearothermophilus spores by low concentration chlorine dioxide gas (査読あり)	共著	2024.11.3	Journal of Microorganism Control 29(4), 153-156 (2024) Sogawa Koushirou, Tagishi Hideaki, Kato Hideaki, Shibata Takashi, Miura Takanori
加藤 英明	令和6年度分担研究報告書 幻覚発現物質の評価検証を目指した試験法の開発 (査読あり)	共著	2025.3.31 発刊予定	令和6年度厚生労働科学研究費補助金「指定薬物の指定に係る試験法の評価検証に資する研究」課題番号：22KC1005、厚生労働省 鈴木勉、加藤英明
竹内 尚子	薬局実務実習指導パー フェクトマニュアル （第６版）	共著	2024年9月	日経BP
竹内 尚子	地域連携薬局機能向上 事業報告書	共著	2024年6月	神奈川県
竹内 尚子	薬局における疾患別対応 マニュアル～患者支援の 更なる充実に向けて～ 精神疾患（気分障害） （統合失調症）（認知症）（睡眠障害）	共著	2025年2月	厚生労働省
寺島 朝子	薬局薬剤師を対象とした双方向・参加型オンライン無菌製剤処理実務研修の構築（査読付）	共著	令和6年9月	医薬品相互作用研究, 48(2), 77-82
寺島 朝子	Investigation on the effects of the route of administration on nicotine-induced hiccups using FDA adverse events reporting system（査読付, アクセプト）	共著	2025年2月現在 投稿中	Chem-Bio Informatics Journal,Vo..20, pp.xx-yy(2025)
鳥越　一宏	ICT活用によるデータヘルス改革と薬剤師の展望	単著	2024年12月	日本薬学会, ファルマシア 60(12): 1125-1129.
鳥越　一宏	Construction and Evaluation of a Program Designed to Support Self-Others Understanding Emphasizing Perspectives on Life and Death for Pharmacy Students （薬学生を対象とする死生観に着目した自己他者理解支援プログラムの構築と評価）	共著	2025/4/1 掲載予定 アクセプト済	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会会誌, 23(1)2025.
池上 大悟	危険ドラッグ誘発幻覚作用の測定法開発に関する研究	共著	2025年 3月	厚生労働科学研究費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）指定薬物の指定に係る試験法の評価検証に資する研究（22KC1005）令和６年度 総括研究報告書

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
池上 大悟	Cortical kappa opioid receptors integrate negative affect and sleep disturbance	共著	2024年 10月	Transl Psychiatry, 14(1):417
池上 大悟	Sirtuin 3 Mediated by Spinal cMyc-Enhancer of Zeste Homology 2 Pathway Plays an Important Role in Human Immunodeficiency Virus-Related Neuropathic Pain Model	共著	2024年 9月	Anesth Analg, 139(3):647-659
市丸 嘉	(5-Fluoro-2,6-dioxo-1,2,3,6-tetrahydropyrimidin-1-ido-κN1)(1,4,8,11-tetraazacyclotetradecane-κ4N)zinc(II) perchlorate「査読付」（表題化合物の結晶構造）	共著	令和6年5月	IUCrdata, (2024); 9(5), p. x240431.
市丸 嘉	[1-(Anthracen-9-ylmethyl)-1,4,7,10-tetraazacyclododecane]chloridozinc(II) nitrate「査読付」（表題化合物の結晶構造）	共著	令和6年7月	IUCrdata, (2024); 9(7), p. x240665.
市丸 嘉	Chemical constituents of five Saxifraga species and their virucidal activities「査読付」（ユキノシタ科5種の化学成分とそのウイルス不活化活性）	共著	令和6年9月	Fitoterapia, (2024); 179, p. 106215.
市丸 嘉	Design, synthesis and characterization of 1-(anthracen-9-ylmethyl)-1,5,9-triazacyclododecane (Ant-[12]aneN3) and its DNA photocleavage activity「査読付」（1-(アントラセン-9-イルメチル)-1,5,9-トリアザシクロドデカン(Ant-[12]aneN3)の設計、合成、特性評価およびそのDNA光切断活性）	共著	令和7年2月	Chemical and Pharmaceutical Bulletin, (2025); 73(2), p. 103.
浦　裕之	The Current Status of Utilizing a Medication Record Handbook for Evaluating Shared Medication History: A Retrospective Study Using the Japanese National Claims Database（お薬手帳を用いた情報共有の現状：NDBデータベースを用いた後方視的研究）（査読付）	共著	令和6年4月	Cureus 16(4): e59096
浦　裕之	Treatment for Dry Skin and an Unpleasant Smell: Development of Moisturizer with Deodorant for Maintaining a Good Skin Condition（皮膚の乾燥と不快な臭いの治療：良好な皮膚状態を維持するためのデオドラント配合保湿剤の開発）（査読付）	共著	令和6年7月	International Journal of Pharmaceutical Research 30(7): 309-320
浦　裕之	Trends in prescription of anti-seizure medications in Japan between 2018 and 2021: A retrospective study using the National Database Open Data Japan.（2018年から2021年にかけての日本における抗てんかん発作薬の処方動向：NDBオープンデータを用いた後方視的研究）（査読付）	共著	令和6年10月	Epilepsy & Behavior 159:109949
浦　裕之	Potential of Aluminum Drug Packages with Press-Through Packaging Considering Usability for a Wide Range of Users（幅広い使用者の使い勝手を考慮したプレススルー包装のアルミ製医薬品包装の可能性）（査読付）	共著	令和6年11月	Med Devices (Auckl) 17:441-453, 2024
小田中　啓太	Fluphenazine is effective against Candida auris infection. （査読付き）	単著	2024年6月	Proc Natl Acad Sci India, Sect B Biol Sci. doi: https://doi.org/10.1007/s40011-024-01599-z.
小田中　啓太	A Pharmacoeconomic Study of Post-Exposure Prophylaxis Strategies for Influenza Virus Infections in Japan. （査読付き）	共著	2025年2月	Adv Ther. 2025 Feb;42(2):772-787. doi: 10.1007/s12325-024-02988-6.
加藤 紘一	Theoretical Studies on the Reaction Mechanism of Schiff Base Formation from Hexoses.	共著	2024年5月	The Journal of Physical Chemistry B, 128, 4952-4958
加藤 紘一	(5-Fluoro-2,6-dioxo-1,2,3,6-tetra-hydro-pyrimidin-1-ido-κ N 1)(1,4,8,11-tetra-aza-cyclo-tetra-decane-κ4 N)zinc(II) perchlorate	共著	2024年5月	IUCrdata, 9, x240431
加藤 紘一	Computational Estimation of Residues Involving Resistance to the SARS-CoV-2 Main Protease Inhibitor Ensitrelvir Based on Virtual Alanine Scan of the Active Site.	共著	2024年5月	Biological and Pharmaceutical Bulletin, 47, 967-977,

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
加藤 紘一	[1-(Anthracen-9-ylmeth-yl)-1,4,7,10-tetra-aza-cyclododeca-ne]chlorido-zinc(II) nitrate	共著	2024年7月	IUCrdata, 9, x240665
加藤 紘一	Molecular Dynamics Simulations of Putative Primitive Proteins Including β-Aspartic Acid Residues	共著	2025年1月	Bulletin of the Chemical Society of Japan, 98, uoae143
坂本 沙祐里	Study on the mechanism of novel antimalarial drug candidate, 1, 2, 6, 7-tetraoxaspiro-[7. 11]-nonadecane (N-89)	共著	2024年2月	The Shujitsu University Journal of Pharmaceutical Sciences Volume 11, p. 9-19, 2024
坂本 沙祐里	新規抗マラリア薬候補化合物, 1, 2, 6, 7-tetraoxaspiro[7. 11]nonadecane (N-89) の作用機序に関する研究	単著	2024年3月	就実大学学術機関リポジトリ 2024年3月
殿山 泰弘	Proteomic analysis of adult T-cell leukemia/lymphoma: A biomarker identification strategy based on preparation and in-solution digestion methods of total proteins (査読付き) (成人T細胞白血病/リンパ腫のプロテオーム解析： 全タンパク質の調製およびゲル内消化に基づくバイオマーカー同定戦略)	共著	2024年3月	Leukemia Research, 138, 107454.
中楯 奨	Role of oral food intake amount in intestinal absorption of morphine in rats	共著	2025年2月	International Journal of Pharmaceutical Research and Applications
細谷 龍一郎	神奈川県におけるコロナ禍とメンタルヘルスに関するデータ解析	共著	2024年10月	発表雑誌：神奈川県公衆衛生学会誌 巻：70 号：23 頁：57-59
細谷 龍一郎	Investigation on the effects of the route of administration on nicotine-induced hiccups using FDA adverse events reporting system	共著	2025年3月	発表雑誌：Chemo-Bio Informatics Journal 巻：25
曾川 甲子郎	Novel sterilization method of Bacillus atrophaeus and Geobacillus stearothermophilus spores by low concentration chlorine dioxide gas	共著	令和6年12月	Journal of Microorganism Control
田中 怜	緩和薬物療法を中心とした薬剤師業務に関連する医療事故に対するシステム構築	共著	2024年7月	医療事故・紛争対応研究会誌 16 15-24
田中 怜	A nationwide survey on medication follow-up care by community pharmacists: From The Japanese Nationwide Pharmacy Collaboration Survey in 2023－	共著	2024年8月	AKUGAKU ZASSHI 144 (8) 805-813
田中 怜	Safety and efficacy of combined injection of pure-μ-opioid agonist with tramadol as an opioid induction agent for opioid naïve cancer patients	共著	2024年8月	Palliative Medicine Reports 5(1) 340-349
田中 怜	Comparison of Continuous Subcutaneous Hydromorphone Hydrochloride and Morphine Hydrochloride Injection on Skin Disorders Incidence: A Retrospective Study	共著	2024年12月	Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences 10(82) 1-7
田中 怜	Effect of Dental Follow-Up on Dental Consultation and Checkup Rates for Patients With Diabetes: A Multicenter Before-After Study	共著	2024年12月	Cureus 16(12) e75145
田中 怜	Incidence of Delirium during the Initiation Phase of Morphine and Hydromorphone Medications in Cancer Patients: A Retrospective Comparative Study	共著	2025年1月	Canadian Journal of Hospital Pharmacy 78(1) e3515
田中 怜	Prophylactic Perioperative Fluid Infusion Strategy During Splanchnic Nerve Neurolysis to Prevent Systemic Hypotension: A Case Series of 70 Patients With Cancer	共著	2025年1月	Pain Physician 28(1) 51-57

氏名	著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌等 又は発表学会等の名称
田中 怜	Low-dose add-on methadone for cancer pain management: a retrospective analysis of 102 Japanese patients	共著	2025年2月	Japanese Journal of Clinical Oncology 55(2) 123-130
田中 怜	Splanchnic neurolysis for severe cancer pain caused by abdominal paraaortic lymph node metastasis	共著	2025年2月	Supportive Care in Cancer (in press)
青島　恵美子	1 原著　産婦健康診査で要支援となった母親に対する保健師の対応（査読付き）	共著	2024年11月	日本公衆衛生雑誌 71(11)
青島　恵美子	2　原著　宿泊型産後ケアにおける助産師のケアの質指標の開発ー適切性・重要性・実行可能性の検討ー（査読付き）	共著	2025.3印刷中	日本母性看護学会誌 25(2)
澤井　美奈子	1バイオテロに対する保健師の研修経験および知識・認識の現状	共著	1905年7月	日本公衆衛生雑誌(0546-1766)71巻6号 Page314-322
澤井　美奈子	2管理期研修をとおした自治体と大学の協働	共著	1905年7月	保健師教育Vol.8 No.1
澤井　美奈子	3看護師課程における地域看護学実習の取り組み	共著	1905年7月	第13回日本公衆衛生看護学会
山崎　真帆	2　ラダーⅠ研修修了生の会　ラダーⅠつながる会の活動報告	共著	2024年8月採択、2025年5月発行予定	全国保健師教育機関協議会「保健師教育」